

2004年5月24日

韓国でTFT-LCD用大型ガラス基板の生産拠点を新設

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、当社が42.76%出資している韓国電気硝子社（本社：韓国慶尚北道亀尾市）との合併を前提に、当社として初めて、韓国（大韓民国）の亀尾市において、TFT-LCD（薄膜トランジスタ方式液晶ディスプレイ）用無アルカリガラス基板を製造・販売する事業に進出することを決定しました。本年5月に新社を設立するとともに、約90億円を投資してガラス基板の研磨ラインを設置します。研磨ラインについては、本年8月に着工し2005年7月に量産開始の予定です。

TFT液晶パネルの需要は、これまでの予想を上回る伸びを示しており、パソコン用途に加えて、オリンピックやサッカーW杯等の開催を控えテレビ用途でも需要が本格化しており、今後も台数ベースで年率25%増の見込みです。また、テレビ用を中心にパネルがより大型のものにシフトしていることから、ガラス基板の需要は、パネルを上回る規模で大幅に増加すると予想され、大型ガラス基板を中心に需給が一層逼迫する懸念があります。

当社は、現在、関西工場及び京浜工場の製造窯においてガラス基板を製造し、関西工場、旭硝子ファインテクノ社（本社：米沢市、出資比率100%）並びに旭硝子ファインテクノ台湾社（本社：台湾斗六市、出資比率100%）において研磨加工を行っています。ガラス基板の旺盛な需要に対応するため、本年9月から2005年4月にかけて、台湾において製造窯（2基）及び研磨ラインを増設し生産能力を大幅に拡大することとしています。

一方、TFT用ガラス基板の国別需要については、2003年度で日本30%、韓国40%、台湾30%と当社では推定しています。今回は、将来的にも大型液晶パネルを中心に需要拡大が見込まれる韓国に、当社として初めて生産拠点を設置することを決定したものです。新社設立及び研磨ライン設置は、韓国における事業展開の第一段階であり、ガラス基板の需要拡大に応じて今後も必要な投資を行い、お客様への安定供給を図ります。なお、韓国への進出にあたり、政府及び関係自治体による優れた外国人投資支援制度を積極的に活用する予定です。

新社の概要は以下の通りです。

1. 社名 (仮称) 旭硝子ファインテクノ韓国
2. 所在地 韓国亀尾市
3. 資本金 下限US\$30百万
4. 出資比率 設立当初は旭硝子(株)100%
(旭硝子(株)100%出資の子会社からの出資を含む)
5. 設立 2004年5月
6. 着工 2004年8月(予定)
7. 生産開始 2005年7月(予定)

新社は、工場建設に係わる諸手続きを速やかに開始するため、当初は当社100%出資（当社100%出資の子会社からの出資を含む）で設立する予定です。その後、韓国電気硝子社との間で同社の出資比率等に関して協議し、合意契約締結の上、合併会社に変更します。最終的な当社の出資比率については、本事業のグローバル一体経営を推進するため、当社が新社の日常経営を主体的に行い得る出資比率とする所存です。

当社製品「AN100」の製造法は、他のガラス基板メーカーとは異なり、大型ガラス基板を大量に生産するのに適したフロート法です。「AN100」は、たわみが少ない、パネル製造時の熱による収縮が少ない等の特徴を持つ他、環境への関心の高まりとともに、通常、製造工程で気泡を抜くために使用される砒素・アンチモンといった有害物質を含まない「環境に配慮したガラス」として、お客様から高い評価を得ています。

当社は、今後も、製造法や環境対応での当社の強みを活かしながら、日本・韓国・台湾といった需要地での動向を的確に捉え積極的に事業展開を図り、本事業における「Global NO.1」を目指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報室長 川上 真一

（担当：斎藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp）

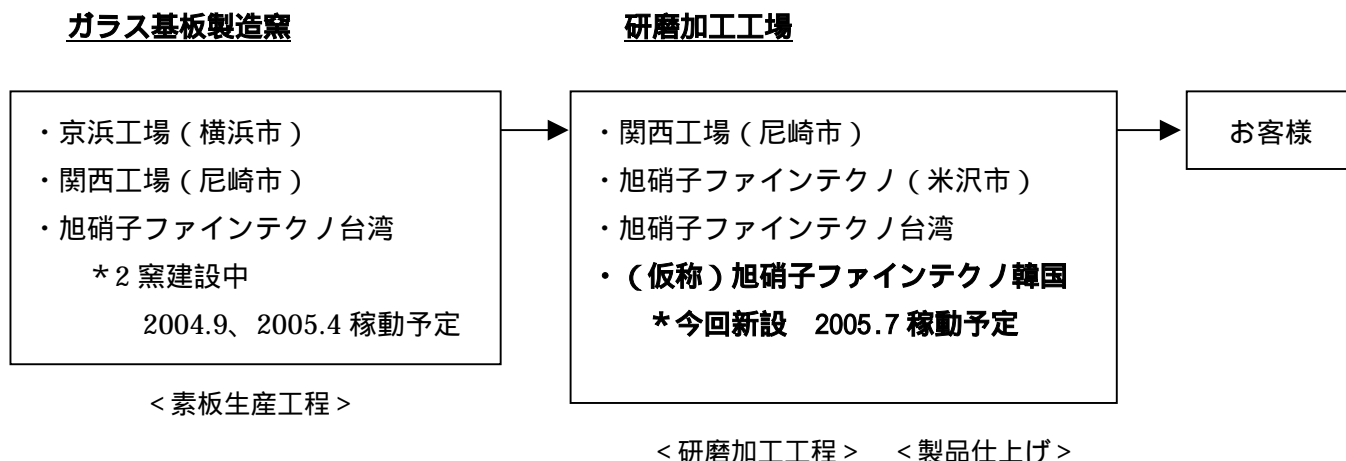
<ご参考>

1. 当社製TFT-LCD用ガラス基板の特徴について

当社は世界で唯一、TFT-LCD用ガラス基板の製造プロセスにフロート法を採用しています。1998年に上市した「AN100」の大きな特徴は、次の通りです。

- (1) 大型ガラス基板を大量に且つ安定的に供給できる。
- (2) TFT-LCD業界で主流化している第5世代(1m角以上のサイズ)以上のラインで使われる大型ガラス基板に求められる特性を十分に備えている。
他社のガラス基板に比べて、高ヤング率(高剛性)であるために、顧客ライン搬送中のたわみ量が少ない
反りや歪みが小さく、熱的寸法安定性にも優れている
- (3) 製造工程で有害物質である As_2O_3 (亜砒酸) Sb_2O_3 (アンチモン)を使用しない唯一のTFT-LCD用無アルカリガラス基板であり、環境問題にも十分な配慮をしている。

2. 旭硝子のTFT-LCD用ガラス基板製造フロー



3. 韓国電気硝子社の概要

- (1) 商号 韓国電気硝子株式会社
(Hankuk Electric Glass Co.,Ltd)
- (2) 所在地 韓国 龜尾市
- (3) 代表者 代表理事 会長 越田得之亮
- (4) 資本金 40,367 百万ウォン
- (5) 株主 旭硝子 42.76%、LG電子 20.0%、その他 37.24%
- (6) 主な事業内容 ブラウン管用ガラスバルブの製造・販売
- (7) 設立年月 1974年5月(当社資本参加:1999年12月)
- (8) 従業員数 1,529名(2003年12月末現在)